

>>>>>>>>>

## [私の学習改革②]

理学研究科修士課程 化学専攻2年生 成岡 知佳さん



2017年9月28日(木)から10月1日(日)にかけて秋田県仙北市で開催された『日本陸水学会第82回大会』において、成岡知佳さんが優秀ポスター賞に輝きました。成岡さんに受賞内容について話をうかがいました。

### 受賞した研究内容について教えてください

湖沼などの水域で、紫外線吸収能や微生物のエネルギー源となるなど重要な役割を果たしている『水系腐植物質』の起源について研究しました。水系腐植物質とは植物が枯死した後、微生物に分解されてきた有機物のことです。研究は北海道・釧路湿原の中にある赤沼での野外実験と、本学での室内培養実験をメインに進めました。その結果、採取した2種類の水系腐植物質が湿原植物由来であり、そのうちの一つは藻類由来であることが判明。また、これまで謎とされてきた『バクテリアによる水系腐植物質の再合成過程』についても言及することができました。

研究のプロセスで印象深かったことは、釧路湿原での野外実験です。一度しかないチャンスで台風に見舞われながらも結果を得られたことは大きかったです。



### 受賞が決定した際の心境は?

学部の4年次から毎年この学会での発表にチャレンジしてきたのですが、これまで受賞の経験はありませんでした。現在、修士課程の2年なので今回が最後のチャンスでしたが、各種データがなかなか集まらず焦りました。そうした不安いっぱいの中での発表だったので、この結果に私自身がいちばん驚いています。後からうかがった話では、研究内容とともに『質疑に対する的確な応答』(ポスター

発表の場合、専門研究者や審査員たちの質問に応じる)が高く評価されたとのことで、大きな喜びと安堵感が得られました。

### どのような発表でしたか?

発表は3度目なので、あまり緊張はしませんでした。今回は参加者がホテルで合宿を行い発表に臨むという形態で開催されたので、ホテルでの同年代の研究者や学生たちとの触れ合いが印象に残っています。私も含め、夜遅くまで個々の研究について語り合うなど、大きな刺激を受けました。そして、これまでの学会発表で再認識したのが「どうすれば他者に理解してもらえるか」の重要性です。つまり、プレゼンテーション能力をいかに磨くかということです。3度の経験が、私のプレゼンテーション能力を大いに高めてくれたように思います。

### 現在の状況と今後の展望について教えてください

現在、今回受賞した研究内容をさらに深める取り組みに従事しています。一つの水系腐植物質が藻類由来である、ということをもときちんと検証する必要があるので。この研究と、それまで携わってきた関連研究をまとめて修士論文に仕上げる予定です。すでに就職先(理学関連の一般企業)も決まっており、修士課程修了後はそちらに勤務し分析に携わる仕事に取り組みたいと思っています。

### MESSAGE

#### 後輩へのメッセージ

いろいろな場所に足を運んで自らの目で見て、さまざまなことを実体験してほしいですね。研究もそうですが大学での学習、サークル活動やアルバイトでも、この姿勢は大事だと思います。そしてもう一つ、在学中にプレゼンテーション能力を高めておいてほしいです。どんなに素晴らしいアイデアや考察でも、他人に伝わらなければ意味がありません。社会進出後、人間関係の形成などさまざまな局面できっと役立つはずです。